



さぽせん あいかわ

第4号

平成21年3月15日発行

編集・発行 あいかわ町民活動サポートセンター
運営委員会

住所 愛川町角田2-5-1番地1

電話 046-205-1323 FAX 046-205-1324

<http://town.aikawa.kanagawa.jp/saposen/index.htm>

あいかわ町民活動サポートセンター

～ ふるさとまつり参加で見えたこと ～

さぽせん、道の途上

地域活動のまちづくりへ、一步、また一步

昨年10月26日(日)、愛川町役場敷地内で開催された「ふるさとまつり」に当町民活動サポートセンターも参加、テント内でのボランティア団体のパネル紹介と、サポセンのPRを行いました。

ふるさとまつりは年を追う毎にますます盛り上がりを見せ、町としての活力の着実な向上が伝わってくるにぎわいでした。

そのなかで、当センターの登録団体は順調に増えて70団体を超え、当センターの利用者も増加し、団体同士の協働活動もできていると私達は思っていました。



ところがサポートセンターの知名度の低さを感じるところもあり、まだまだ目標とする地域活動は活性化の段階の途中にあることを改めて認識しました。

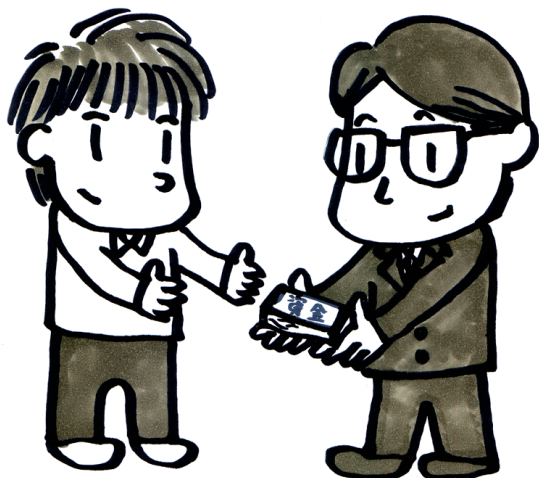
当センターも3年目を迎え、そこでさらなる工夫、さらなる創意で地域活動の推進を図っていきます。

団体の最新情報や助成金のお知らせなど、活用していただけるセンターになりたいと一同願っております。

皆さんもぜひ、当サポートセンターへ足をお運びください。登録団体以外の方もお気軽にご利用ください。

ご存知ですか？

町ではこのような支援をしています



① 財政的支援

あいかわ町民活動応援事業

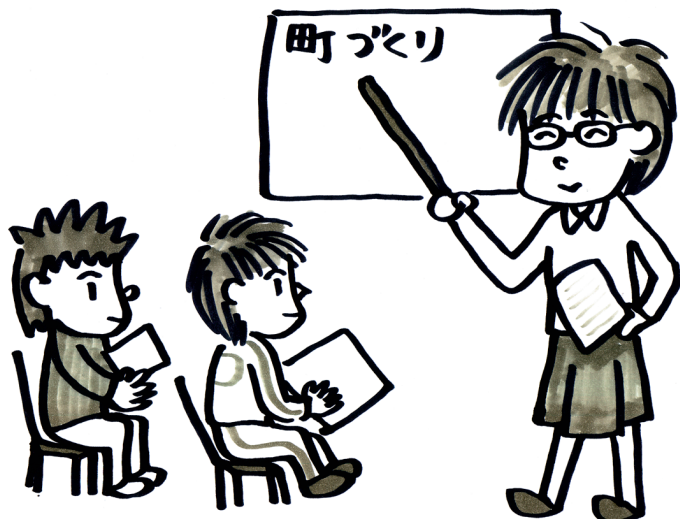
あいかわ町民活動応援事業とは、町民皆さんが自主的・自立的に行う、公益的な活動を資金面からバックアップする制度です。平成20年度は3団体に支援しました。



② 活動支援

あいかわ町民活動サポートセンター

ボランティア団体などの打ち合わせや情報収集、発信、交流・作業の場として、ご利用下さい。



③ 人材育成

講演会や研修などを開催し、公益活動を担う人材育成に努めています。

公益活動 誰でも気軽に

公益活動のキーワードは「誰でも、気軽に」です。資格がなくてもはじめられます。「公益活動をしたい」など公益活動に関することは、行政推進課またはあいかわ町民活動サポートセンターにお問い合わせください。

さぽせん利用者懇談会を開催します!

開催日時 平成21年3月25日(水) 午後1時30分～4時00分

開催場所 役場庁舎分館1階 会議室

アドバイザー 産業能率大学 齊藤 進 教授

懇談会内容

登録団体の声を聞く会として、各団体の参加者にサポセン運営委員と町職員も加わり話し合いを行います。最後に齊藤教授による講評と各団体の悩みに対して、アドバイスをいただきます。ぜひ参加し今後の活動の参考にしてください。

募集しています・参加お待ちしております

「あいかわ町民活動サポートセンター 運営委員募集」

サポートセンターの運営は、公益活動に見識や興味のある方で組織する「あいかわ町民活動サポートセンター運営委員会」(委員は平成21年2月末現在20名)が主体となり、地域に根差した利用しやすいサポセンを目指し、毎月1回運営委員会を開催しております。

そこで、更なる公益活動の活性化、運営委員会の活発化・組織強化のため、運営に携わる委員を募集します。

- | | |
|-------|---------------------------------------|
| 募集人数 | 10人 |
| 募集期間 | 定員(30名)に達するまで、随時募集します。 |
| 応募資格 | 次の要件をすべて満たす方 |
| | 1 町内在住または在勤・在学の方 |
| | 2 ボランティアやNPOなどの公益活動に関心のある方 |
| 会議の回数 | 月1回程度 |
| 応募方法 | 町行政推進課またはあいかわ町民活動サポートセンターへお問い合わせください。 |

清流太鼓会員募集

「半原まつり研究会」では清流太鼓会員を募集しております。ふるさとの郷愁とも言うべき古来の習慣、季節の風物詩、祭囃子、チンドン屋など、先人が育んできた人間の心を和ませるような風情を一緒に伝承していきませんか。興味のある方、参加希望の方は随時見学OKです!お気軽にお越しください。

1. 練習日: 月4回毎週日曜日19:00～21:00
2. 練習場所: 農村環境改善センター
3. 問い合わせ先: 木末 恒彦 (090-3576-9797)

シリーズ さぼせん 利用団体探訪

愛川町子どもの読書を推進する会

横顔

設立：半年の準備期間を経て平成17年10月に設立。町内各小・中学校の保護者が中心となってそれぞれに立ち上げた読書ボランティア活動を支援していくため、町の委託事業や国の「子どもゆめ基金」の助成を受けて、読書ボランティア等有志4名のスタッフにより、著名な講師をお招きしての講演会や基礎講座・実践講座の開催等を通して活動しています。

連絡先 代表 平川嘉則 285-0323

代表の声

私達のできる事は砂浜の砂に比べれば手のひらの上の一握りの砂にも満たないと思います。でも未来からの留学生である子ども達に、素敵な言葉を伝えたい、本の素晴らしさを伝えたい。そのために、大人の責任として、できることをできるときにやっていきたいと願っています。

探訪感想

いまや、愛川町やその周辺の読み聞かせグループのシンクタンクとなっています。子ども達のためにも、この会が発展することを期待します。



社会教育施設ボランティア びっくり箱

横顔

設立：平成15年4月

遊びは「テレビゲーム」と言う子ども達の声聞いて「えっ？」

遊びは自分で考えて身体(五感)をつかって楽しむことでしょうか？ そうだ！昔の遊びも取り入れて、子どもと一緒に楽しもうと、子どもの心を持った大人が集まり、いつも楽しい遊びを考えています。3月には、子どもが実行委員のフェスティバルを開催します。

連絡先 代表 土井幸子 285-5340

代表の声

子どもと一緒に、もの造りや遊びを考えるのは、とても楽しい！子どもの発想と真剣な目に希望と力もらっています。

探訪感想

わくわくジュニアフェスティバルに向けての準備を、実行委員の子どもたちとワイワイガヤガヤ進めていました。フェスティバル当日の大人のボランティアを募集しているそうです。一度のぞいてみてください。



編集後記

あいかわ町民活動サポートセンター開設から早くもまる2年が経過しました。現時点で、登録団体は79団体、近隣市町村と同レベルになってきました。これからのサポートセンターは、登録団体を増やすことより、今の登録団体の利用率をいかに上げていくかの活動に重点をおいていきます。町の公益活動が更に活性化するため、サポートセンターは、今後とも努力してまいりますので、皆様方のご支援ご協力よろしくお願いたします。(W)